

Macro Key Manager

ガイド

日本語



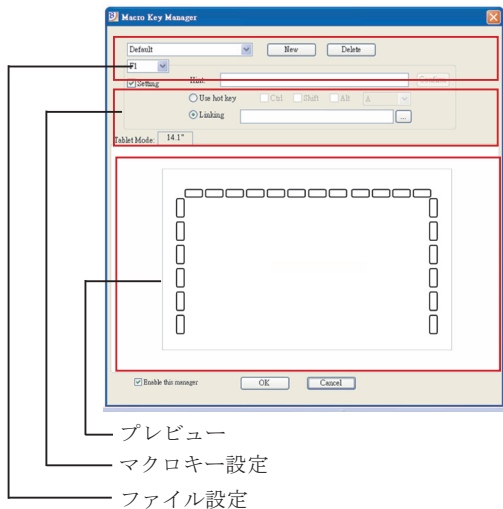
説明

「マクロキー・マネージャー」はマクロキー機能を備える手書き入力パネルのために設計されたソフトです。このソフトを使えば、キーボードショートカット機能（「コピー=Ctrl+C」など）の設定やリンクができます。また、便利な使い方として、一つのファイルにまとめて使用することもできます。

「マクロキー・マネージャー」には初期設定のファイルがあります。その中には設定済みのマクロキーがあります。これらのマクロキーは変更したり、削除したりすることはできません。その他のマクロキーは必要に応じて設定、変更、削除が可能です。また、ご自分で新しいファイルを作成することもできます。

キーボードショートカット機能は各ソフト間で統一されていないため、「マクロキー・マネージャー」はソフト設定の執行機能を備えています。これにより、異なる応用ソフトで設定したファイル間でもお互いに影響し合わず、誤作動を起こすこともありません。想定外の誤作動を避けるため、この機能をご利用されることをおすすめします。


「マクロキー・マネージャー」コントロールパネル説明



- ファイル設定
マクロキーのファイルを選択、作成、変更できます。
- マクロキー設定
個別のマクロキーについて機能を設定できます。「キーボードショートカット機能」と「ファイル・プログラム又はサイトへのリンク」の2種類があり、いずれかを選択できます。それぞれのマクロキーには必ず表示名を付けるようにして下さい。
- プレビュー
プレビューでは手書き入力パネルとマクロキーのアイコンを確認できます。カーソルを個別のマクロキーに合わせると、そのマクロキーに対して設定した名前が表示されます。

インストール

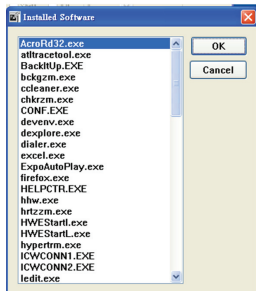
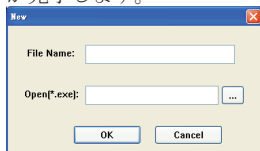
CD-ROM内の「マクロキー・マネージャー」のインストールが完了し、手書き入力パネルをパソコン本体のUSBポートに接続すると、タスクバーに「マクロキー・マネージャー」

を示す「」が表示され、使用できるようになります。「マクロキー・マネージャー」の使用を終了し、手書き入力パネルのUSBケーブルをパソコンから抜くと、タスクバー

の表示は「」に変わります。

— 新しいファイルの作成方法

1. 「新しいファイルの作成」をクリックし、このファイルに名前を付けます。
2. このファイルがパソコンにインストール済みの特定のプログラムのために作成されたものである場合は、「自動実行ファイルの起動」をクリックして下さい。そうでない場合はこのステップは飛ばしてかまいません。
3. パソコンにインストールされているソフトウェアが画面上に表示されます。必要なプログラムを選択し、「はい」をクリックして下さい。
4. 「はい」をクリックすると、新しいファイルの作成が完了します。

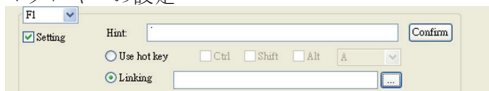


1. 編集したいファイルを選択する。
2. 「マクロキーの設定」を参考に編集、変更作業を行う。
3. 「はい」をクリックしてファイルの編集作業を終了する。

— ファイルの削除

1. 削除したいファイルを選択する。
2. 削除」をクリックする。

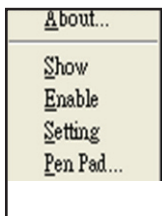
— マクロキーの設定



1. 未設定の枠をクリックして機能設定を開く。
2. 表示名を入力する。

ショートカット機能がリンクかを決定する。

「はい」をクリックする。



Windows 2000/XP/Vista Basic



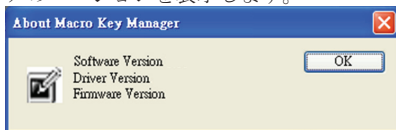
Above Windows Vista Premium

その他

カーソルをタスクバー上の「マクロキー・マネージャー」のアイコンに合わせて右クリックすると、以下のタスクウインドウが表示されます。

About

「マクロキー・マネージャー」、ドライバ、ファームウェアのバージョンを表示します。

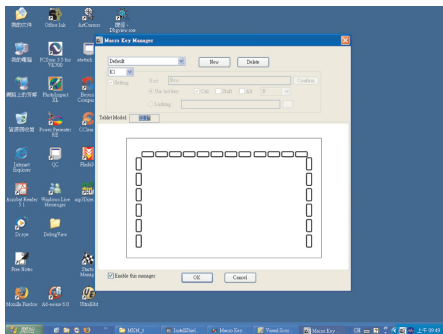


表示

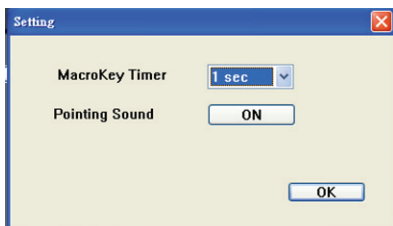
「マクロキー・マネージャー」のコントロールパネルを表示します。

スタート/終了

「マクロキー・マネージャー」機能のスタート又は終了を行うことができます。



設定



- マクロキー・タイマー
マクロキーの機能が有効になる時間を設定できます。「0秒」「1秒」「1.5秒」「3秒」の4種類から選択できます。これは、ペンの先端が手書き入力パネルのあるマクロキーに接触した後、それぞれ0秒、1秒、1.5秒、3秒後にマクロキーの機能が有効になるということです。
- クリック音
クリック音の有無を選択できます。

ペンパッド (Windows 2000/ XP/Vista Home Basicのみ)

これは手書き入力パネルのドライバです。手書き入力パネルのドライバの説明を参照して下さい。

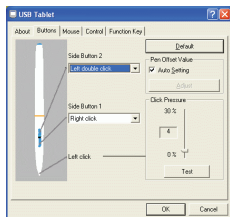
スタート

新しいファイルの作成、個別のマクロキーの機能設定を完了すれば、「マクロキー・マネージャー」を使用できるようになります。使用するファイルを選択し、「はい」をクリックして下さい。選択したマクロキーファイルの設定がオンの状態になります。

PEN PAD DRIVER

タブレットとペン機能の設定

- サイドボタン
ボタンをクリックしてサイドボタンをカスタマイズします。



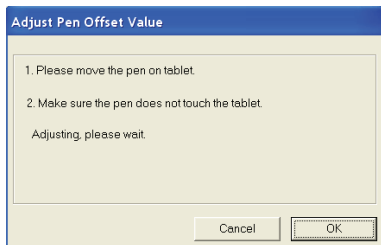
デフォルト設定

- 下ボタン=マウスの右ボタン
- 上ボタン=マウスの左ボタンをダブルクリック
- ペンポイント=マウスの左ボタン

ペンオフセット値

同じタブレットを使用しているときにペンを変更したくない場合、またコンピュータを再起動したくない場合、新しいペンはペンのオフセット値設定を実行する必要があります。

1. "Buttons(ボタンタブで、"Auto Setting自動設定チェックボックスのマークを外して前の値を削除します。
2. "Adjust(調整)ボタンをタップして"Adjust Pen Offset Value(ペンのオフセット値の調整ダイアログボックスを起動します。画面の指示に従って調整を行います。O.K. kメッセージが表示されるまで、ボタンをタップします。
3. "Auto Setting(" 自動設定チェックボックスを選択すると、コンピュータを再起動するときは常に、コンピュータが新しいペンのオフセット値を自動的に検出します。



— クリック圧

1. “Buttons(ボタン)” タブの、から30 までクリック圧の値を提供する “Click pressure(クリック圧)” の下で、好みに合う数字を選択しますがもっとも軽く、30がもっとも重たがもっとも重た
2. “Test(テスト)” ボタンをクリックして“Click Pressure Test(クリック圧のテスト)” 筆記領域を起動すると、設定が正しいかをテストすることができます。

